

# 地域医療連携室だより

151号



28年度病診連携事業信楽園病院登録医連絡会議風景

## トピックス

- 新年度挨拶
- 病院食の工夫メニュー
- 院内感染対策研修会を開催しました
- 院内研究発表会を開催しました
- 退院支援専任担当の紹介
- 地域医療連携室からのお知らせ
- 外来診察担当医一覧表変更のお知らせ

## 28年度

### 病診連携事業信楽園病院登録医連絡会議開催しました

3月14日（火）、当院大会議室において17名の診療所の先生方、当院医師・職員合わせて58名参加し開催いたしました。

坂井輪診療所 安達哲夫先生より高齢化の推移から包括ケアシステムへの方向性や「にしく赤・坂ネット」立ち上げの経緯をご講演いただきました。また、当院リハビリテーション科 渡部裕美子医師より診療報酬制度における算定や内部障害のリハビリテーションにおける最近の変化を説明し、リハビリスタッフが疾患別リハビリテーションを紹介しました。

## 基本理念

病める人の権利と心情を重んじ信頼される医療を行います。

## 基本方針

- ・安全で質の高い医療を提供します。
- ・次世代の医療を担う人材の育成に努め、時代の変化に対応できる中核病院としての役割を果たします。
- ・地域包括ケアシステムを推進する取組みを進め、地域の医療、保健、福祉の向上に貢献します。
- ・患者さんに喜ばれ、誇りをもって働くことのできる病院づくりに努めます。

信楽園病院広報誌 地域医療連携室だより151号

発行日 平成29年4月1日

編集 社会福祉法人 新潟市社会事業協会

信楽園病院 地域医療連携室

〒950-2087 新潟市西区新通南3-3-11

TEL025-260-8101 FAX025-260-8102

[Http://www.shinrakuen.com](http://www.shinrakuen.com)



## 新年度挨拶

地域医療・情報部長 高澤 哲也

地域医療・情報部長の高澤哲也です。2014年4月1日、現職に就任し丸3年が経ちました。新年度を迎えるに当たり、初心に帰るべく当時の就任の挨拶（地域医療連携室だより 116号）を読み返してみました。

地域医療部門の抱負としては、当然のことながら「地域の診療所の先生方との病診連携の強化」を掲げておりました。それでは実際はどうか？ 2016年12月14日、当院も参加する形で「にしく赤・坂ネット」という在宅医療ネットワーク（代表、坂井輪診療所長 安達 哲夫 先生）を立ち上げました。今後在宅医療のバックアップ病院として地域の診療所の先生方と連携を益々強化していけないのではないかと考えております。まだ道半ばですが、当初の抱負通りに進んでいくものと信じております。

情報部門の抱負としては、情報の電子化と過去のアナログ情報の整理活用を掲げておりました。予定通り2014年中にアナログ診療データを整理し仮倉庫（旧有明園）へ移転保管。2015年には電子カルテの更新を行いました。これも当初の抱負通りと考えております。

就任挨拶の最後に私用のパソコンを買い替えたとの記載がありました。WindowsXPのサポート終了のため、「Microsoft にしてやられた。」との感想が添えられています。そのとき買い換えたDell社製パソコンは今年1月にハードディスクが不具合となり、保証期間も終了しているため、余儀なく再度買い替えをする羽目となりました。この点に関しては3年前と同様で全く進歩がありません。「Dell にしてやられた。」との感想を付け加えて稿を終えます。



## ～嚥下食の紹介～

管理栄養士 熊倉 ひとみ

脳卒中や認知症、加齢など様々な原因で、摂食嚥下障害をかかえる患者さんは少なくありません。肺炎は日本人の死亡原因の第3位ですが（平成27年人口動態統計より）、特に高齢者では、この多くが、誤嚥が原因で起こる”誤嚥性肺炎”といわれています。ここでは、当院で提供している”食べやすさ、飲み込みやすさ”に配慮したメニューを紹介します。

“ソフト食”は、噛みにくさに配慮した軟らかさに調理したお食事です。例えば、白身魚は皮や骨をとり、蒸したり煮たりして、全体にしょうゆあんをかけ、まとまりを良くしています。食材によっては、ミキサーにかけた後、ゲル化剤を使用し再成形するメニューもあります。



【カレイの煮魚醤油あん】



【赤魚の彩り煮魚あんかけ】

”ミキサー食”は、噛むことが難しい方向けに、料理をミキサーにかけ、とろみ加減を調整し、ピューレ状に調理をしています。元の素材の形が分かりづらい欠点がありますが、味付けや、色合いに気をつけて調理をしています。



【スクランブルエッグ】



【青菜のミキサー黄身あんがけ】

信楽園病院では、医師、歯科衛生士、看護師、言語聴覚士、管理栄養士による“摂食・嚥下勉強会～口から安全に食べるために～”を年4回開催しています。座学だけではなく、実技も交えた勉強会となっています。現在、入院中の患者さんと家族を対象としていますが、今後は地域や多施設との連携をはかり、より充実した勉強会にしていく予定です。



## 院内感染対策研修会を開催しました

### テーマ

### 「院内感染対策の基本 ～薬剤耐性菌の最新情報も含めて～」

平成29年3月3日（金）、全職員対象の院内感染対策研修会を開催しました。

今回は長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野（臨床検査医学）教授柳原克紀先生より講義をしていただきました。

内容は実例も交えて、長崎大学病院が多剤耐性緑膿菌のアウトブレイク後に行った対策（手洗いの徹底やカテーテル管理の徹底、入院患者制限、ハイリスク患者のスクリーニングなど）等をご教示いただきました。また、標準予防策と手指衛生といった感染対策の基本を再確認することができ、重要性を改めて認識する機会となりました。手指衛生実施の指標となるサーベイランスについては現場にフィードバックしていくことが職員の感染対策実施の動機づけになると学びました。



## 院内研究発表会を開催しました



平成29年3月6日（月）、当院大会議室にて「第40回院内研究発表会」を行いました。

今回は、他部署合同のチーム医療発表が多数ありました。部署内での取組み・研究成果・部署業務問題点の改善見直しなど日頃の活動を発表する有意義な会となりました。

今後も他部署との連携を密に情報共有し、質の高い医療の提供に努めて参りますのでよろしくお願いいたします。

## 退院支援専任担当の紹介

当院では、入院時より退院後の生活を見据え、退院調整看護師が早い時期から患者・家族と一緒に生活状況を把握し支援しております。専任の看護師を病棟に配置して各部署と協働し、地域の医療機関・施設・福祉サービスと連携しながら退院後の生活が安心して送れるようお手伝いをします。



## 地域医療連携室からのお知らせ

地域医療連携室は、平成28年12月新潟市西区の西側、赤塚・坂井輪圏周辺の在宅医療の充実推進のため新潟市在宅医療ネットワークの20団体目の「にしく赤・坂ネット」を立ち上げました。また、今年度より「新潟市在宅医療・介護連携ステーション」を設立し地域連携ネットワークの構築に向けて準備を進めております。

今後も地域の医療機関・介護関係機関との円滑な橋渡しとなりますよう努めて参りますのでよろしくお願いいたします。

信楽園病院 地域医療連携室  
TEL 025-260-8101 (直通)  
025-260-8200 (代表)  
FAX 025-260-8102 (直通)

新潟市在宅医療・介護連携ステーション  
TEL 準備中



## ■ 外来診察担当医一覧表変更のお知らせ

外来診察担当医が平成29年4月より下記の通り変更いたします。  
詳しくは外来診察担当一覧表をご参照ください。

診察室	診療科	曜日	変更前	変更後
3	呼吸器内科	金	柴田 怜医師	阿部 徹哉医師
12	腎臓内科	水	23診察室	蒲澤 秀門（新大医師）
12	呼吸器内科	金	24診察室	小屋 俊之（新大医師）
16	消化器内科	月・水	森 茂紀医師	濱 勇医師
16	消化器内科	木	森 茂紀医師	本田 博樹医師
18	内科（予約不可）	木		山本 絢子医師
18	内科（予約不可）	金		居城 甫医師
23	整形外科	火	捧 陽介医師	奥村 剛医師
28	神経内科	月	石川 正典医師	鳥谷部真史医師
29	神経内科	金	石川 正典医師	鳥谷部真史医師

よろしくお願いいたします！

